

# フランス便り

田中早弥

## HALLOWEEN

本文を提出する日程の兼ね合いで、先月のフランス便りにフランスのハロウィンについて書くことができませんでした。かなり時期がずれてしまいましたが、とても素敵な体験だったので紹介します！

日本でも多くの人に知られているハロウィンですが、元々が西洋の文化であっただけあって、日本で私のハロウィンのイメージは仮装やメイクをして楽しむ日という認識でした。イベント事が好きな自分にとっては、初めての海外でのハロウィンがとても楽しみでした。先月の便りにも書きましたが、私のホームステイ先には10歳の妹さんがいます。妹さんから「今夜街にお菓子をもらいに行くけど一緒に行く？」との誘いがあったので私はその夜、妹さんとその友達数名とその親御さん達と一緒に、街へお菓子をもらいに家を訪ねて回りました。



子供たちは、それぞれいろいろな仮装をしていて、魔女やホラー映画で人気の「IT」に出てくるピエロ“ペニーワイズ”など、お化けや悪魔を連想させる仮装がほとんどでした。子供たちはインターホンを押すと「Des bonbons ou un sort !」と大きな声で叫びます。日本ではあまり目にしない光景だっ



たので、家から出てくる人がどんな反応をするのか私は少し心配に思いましたが、仮装をして出迎えてくれる家や仮装をしていない私や、他の親御さん達にもお菓子を配ってくれる家など、どの家の人もみんないい人たちばかりでした。

# フランス便り

田中早弥

ンスの夜の道は、雰囲気があってとてもわくわくしました。しかし、馬が通った後の道に100mくらいの間隔で馬の糞が落ちていて、この後誰が掃除をするのだろうかと少し疑問に思いました。



それだけでもとても楽しかったのですが、何より驚いたのが街を馬に乗って回る人がたくさんいたことです。近くに乗馬ができるところがあるらしく、大人も子供も色んな層の年齢の人が馬に乗っていました。馬や仮装した子供たちが歩き回るフラ



家に帰る頃には、子供たちが手にさげている鞆やかごの中はお菓子でいっぱいになっていました。地域の大人たちと子供たちが交流するとてもいいイベントだなと感じました。🎃

## CARAMBAR

これは CARAMBAR というフランスのチョコレートの味のチューイングキャンディです。フランスでは、日本ではあまり見かけない棒状で個包装されているチューイングキャンディがよく売られています。このキャンディの包みを開いた内側には、フランス語でジョークが書かれています。私の開けた包みには、「Qu'est-ce qui a des poils et vend des médicaments ?」と書かれていました。日本語に直訳すると「毛が生えていて薬を売っているのは誰?」となるのですが、いまいち質問の意図がピンとこず答えを見ると「un pharmacien」(薬剤師)と書いてありました。どんなジョークが分かりますか? ヒントは、答えの単語の中に、ある動物の名前が隠れています。キャンディを食べてみた感想は、とても硬くて歯にすごく引っ付く感じがしたので、歯に詰め物をしている人にはあまりお勧めできないお菓子という印象です。味自体は美味しかったです!

